

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： アナモレリン塩酸塩が悪液質合併非小細胞肺癌患者の体重，体成分に与える影響に関する後ろ向き研究

研究の目的

がんの進行に伴って「悪液質」が生じ、筋肉量が減り、体重減少、食欲不振、倦怠感などが出現することがあります。がん患者の予後予測因子として悪液質が注目されていますが、これまで有効な治療薬がありませんでした。2021年に悪液質に対し食欲を改善するアナモレリン塩酸塩が製造販売承認されましたが、実臨床での効果に関するデータはまだ不十分であり、データの蓄積が必要となっています。

研究実施期間： 実施許可日～ 2025年 3月 31日

対象となる方： 非小細胞肺癌と診断され、悪液質を伴う方で、2021年7月～2024年10月に当院でアナモレリン塩酸塩を投与開始された方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、診断日、合併症、喫煙歴、臨床病期、組織型、ドライバー遺伝子変異の有無、アナモレリン投与開始日、投与終了日、死亡日、アナモレリン投与時の薬物療法歴、アナモレリン投与開始6か月程度前の体重、アナモレリン投与中・投与後の体重と体成分分析装置(InBody770)を用いた除脂肪体重などの体組成、ECOG-PS、BMI、アルブミン、Hb、CRP、治療開始前・投与中・投与後のCT画像上の第3腰椎高位での腸腰筋、腹直筋、外腹斜筋、内腹斜筋、腹横筋の断面積の総和、アナモレリンの有害事象について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、アナモレリンを投与することによる体重や除脂肪体重、筋肉量の変化などの効果を確認し、効果がでた方とでなかった方を比較し、あらかじめ予測できる項目がないか明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除

外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	大学院医学研究科呼吸器内科学講座 石岡 佳子 連絡先：0172-39-5468
-------	--